

音 楽

(一 般)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出◆	音楽 701・801・802	A4 変型 276	令和2年
27	教育芸術社	教 芸◆	音楽 702・803・804	A4 変型 294	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
6冊	教出、教芸

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年の目標】

〔第1学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

〔第2、3学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【参考：中学校学習指導要領解説 音楽編「第1章 総説 2 音楽科改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

中央教育審議会答申においては、小学校、中学校及び高等学校を通じた音楽科の成果と課題について、次のように示されている。

- 音楽科、芸術科（音楽）においては、音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図を持って表現したり味わって聴いたりする力を育成すること、音楽と生活との関わりに関心を持って、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むこと等に重点を置いて、その充実を図ってきたところである。
- 一方で、感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値等を考えたりしていくこと、我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくこと、生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化についての関心や理解を深めていくことについては、更なる充実が求められるところである。
- 今回の学習指導要領の改訂においては、これまでの成果を踏まえ、これらの課題に適切に対応できるよう改善を図っていくことが必要である。

これらの成果と課題を踏まえた中学校音楽科の改訂の基本的な考え方は、次のとおりである。

- ・ 感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりすることができるよう、内容の改善を図る。
- ・ 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を図る。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 「表現」の教材数（曲数）	教科の目標	曲
b 「鑑賞」の教材数（曲数）		
c 〔共通事項〕の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所数	中学校学習指導要領解説音楽編「第2章 音楽科の目標及び内容 第2節 音楽科の内容」	箇所
d 〔共通事項〕の「知識」について示された箇所数		
e 言語活動について具体的に示された箇所数	中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」	箇所
f 我が国や郷土の伝統音楽の曲数と資料が掲載されたページ数	中学校学習指導要領解説音楽編「第2章 音楽科の目標及び内容 2 音楽科の内容」	曲、ページ
g 諸外国の音楽の曲数と資料が掲載されたページ数		曲、ページ
h コンピュータや教育機器を活用する箇所数	中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」	箇所
i 発展的な内容を取り上げている箇所数	中学校学習指導要領「第1章総則」	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究項目のa、b、e及びiとの関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

a-1、f、g 表現（歌唱）（別紙2-1）

a-2、f、g 表現（器楽）（別紙2-1）

a-3、f、g 表現（創作）（別紙2-1）

b、f、g 鑑賞（別紙2-2）

c 〔共通事項〕の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所（別紙2-3）

d 〔共通事項〕の「知識」について示された箇所（別紙2-3）

e 言語活動について具体的に示された箇所（別紙2-3）

f 我が国や郷土の伝統音楽（別紙2-1）（別紙2-2）

g 諸外国の音楽（別紙2-1）（別紙2-2）

i 発展的な内容を取り上げている箇所（別紙2-4）

<その他>

*1 国旗・国歌の扱い（別紙2-5）

*2 防災や自然災害の扱い（別紙2-6）

*3 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-7）

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 「表現」では、歌唱、器楽、創作の活動ごとに、「思考力、判断力、表現力等」、「知識」及び「技能」に関する資質・能力を育てるために必要な指導内容が示されている。そこで、3分野の内容項目における指導のねらいを達成させるための教材を調査する。（a-1、a-2、a-3）
- ・ 「鑑賞」では、「思考力、判断力、表現力等」、「知識」に関する資質・能力を育てるために必要な指導内容が示されている。そこで、観点ごとに分類した指導のねらいを達成させるための題材や教材を調査する。（b）
- ・ 言語活動については、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導は、生徒一人一人の音楽に対する価値意識を広げることにつながると示されている。そこで、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習活動についての題材や教材を調査する。（e）
- ・ 我が国や郷土の伝統音楽については、中学校学習指導要領解説音楽編「第1章 総説 2 音楽科改訂の趣旨及び要点」の中に、以下の記述がある。

⑥ 我が国や郷土の伝統音楽に関わる指導の充実

中央教育審議会答申において、「我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくこと」の「更なる充実が求められる」とされたことを踏まえ、次のように改訂した。

歌唱や器楽の指導において、我が国の伝統的な歌唱や和楽器を扱う際の配慮事項として、「生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること」を新たに示した。

また、中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」の中に、以下の記述がある。

2(2) 各学年の「A表現」の(1)の歌唱の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ア 歌唱教材は、次に示すものを取り扱うこと。

(ア) 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切で、生徒にとって親しみがもてたり意欲が高められたり、生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れたりできるもの。

(イ) 民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち、生徒や学校、地域の実態を考慮して、伝統的な声や歌い方の特徴を感じ取れるもの。なお、これらを取り扱う際は、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること。

(ウ) 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。なお、各学年において、以下の共通教材の中から1曲以上を含めること。

「赤とんぼ」	三木 露風	作詞	山田 耕筈	作曲
「荒城の月」	土井 晩翠	作詞	滝 廉太郎	作曲
「早春賦」	吉丸 一昌	作詞	中田 章	作曲
「夏の思い出」	江間 章子	作詞	中田 喜直	作曲
「花」	武島 羽衣	作詞	滝 廉太郎	作曲
「花の街」	江間 章子	作詞	團 伊玖磨	作曲
「浜辺の歌」	林 古溪	作詞	成田 為三	作曲

このことから、我が国や郷土の伝統音楽について取り扱う教材についても調査する。

教材の地域的・歴史的な範囲等は「我が国及び諸外国の様々な音楽」と幅広いため、指導のねらいに適切な教材であるか、具体的に教材の内容（題材名、国や地域、時代、作曲家や演奏形態など）について調査する。

- ・ 発展的な内容については、中学校学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通事項 (1) 内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、(3)「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。

これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。(i)

- ・ コンピュータや教育機器の使用については、中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」において、「生徒が様々な感覚を関連付けて音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるようにするため、コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること」とあるため、コンピュータや教育機器を活用する箇所を調査する。
- ・ 国旗・国歌については、学習指導要領に基づき、国旗・国歌に対する正しい認識をもたせ、それらを尊重する態度を育てることが大切であることから、その扱いについて調査する。(*1)
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。(*2)
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。(*3)

③ 調査研究の方法

a 表現 (a-1 歌唱・a-2 器楽)

題材(項目)名 曲名 国や地域 作詞家 作曲家 演奏形態等

a 表現 (a-3 創作)

題材(項目)名 具体的な学習活動

b 鑑賞

題材(項目)名 曲名 国や地域 時代 作曲家 演奏形態等

e 言語活動について

言語活動について具体的に示された箇所についてその学習内容を調査する。

h コンピュータや教育機器を活用する箇所についてその学習内容を調査する。

- i 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

*1 国旗・国歌について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

*2 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

*3 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

(2) 構成上の工夫 (調査結果は「別紙3」)

以下の観点により、箇条書きで記述する。

ア 目次、表記、表現の工夫

イ 絵、図、写真、資料、楽譜等の工夫

- ウ 単元構成の工夫
- エ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- オ ユニバーサルデザインの視点
- カ デジタルコンテンツの扱い
- キ その他

「別紙1」 【(1) 内容 ア 調査研究の総括表】 (中学校 音楽一般)

項目	a 「表現」の教材数(曲数)			b 「鑑賞」の教材数(曲数)			c 「共通事項」の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所数			d 「共通事項」の「知識」について示された箇所数			e 言語活動について具体的に示された箇所数			f 我が国や郷土の伝統音楽の曲数と資料が掲載されたページ数			g 諸外国の音楽の曲数と資料が掲載されたページ数			h コンピュータや教育機器を活用する箇所数	i 発展的な内容をとり上げている箇所数	
	歌唱	器楽	創作	表現	鑑賞	計	表現	鑑賞	計	表現	鑑賞	計	表現	鑑賞	計	表現の曲数	鑑賞の曲数	資料が掲載されたページ数	表現の曲数	鑑賞の曲数	資料が掲載されたページ数			
発行者																								
教出	56	9	6	71	58	66	24	90	94	100	194	53	43	96	21	25	85	10	33	76	11	3		
教芸	67	2	10	79	116	68	26	94	115	50	165	70	18	88	15	37	79	8	79	66	7	0		
平均値	61.5	5.5	8.0	75.0	87.0	67.0	25.0	92.0	104.5	75.0	179.5	61.5	30.5	92.0	18.0	31.0	82.0	9.0	56.0	71.0	9.0	1.5		

(調査結果) 表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入した。

- a の歌唱は、掲載されている全ての楽曲数を数えた。
器楽は、楽器を使う活動が掲載されている箇所数を数えた。
創作は、題材数を数えた。
- b の鑑賞教材数は、掲載されている楽曲数を数えた。
- c は学習指導要領「共通事項」の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所数を数えた。
- d は学習指導要領「共通事項」の「知識」について示された箇所数を数えた。
- e は「感じ取ったことを言葉で説明する」、「根拠をもって批評する」など、言語活動について具体的に示された箇所を表現・鑑賞の領域別に数えた。
- f の我が国の伝統音楽は、明治時代以前に成立した様式による音楽を数えた。郷土の音楽は時代にかかわらず、全て数えた。
- g の諸外国の音楽は、我が国を除く諸外国の芸術音楽・民俗音楽・ポピュラー音楽等を表現・鑑賞の領域別に数えた。
- f・g の資料は、題材に関連する資料楽譜・図表・挿絵・写真等がカラーで掲載されているページ数を数えた。(題材に関連のないイラスト等を除く。)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽		
教 出	1	無理のない自然な声の出し方で歌おう	青空へのぼろう	日本	中野郁子	平吉毅州	及川香恵(編曲)	同声二部合唱				
			アニー・ローリー	イギリス(スコットランド)		スコット夫人	和田崇(編曲) 藤浦洸(日本語詞)	同声二部合唱		○		
		曲の形式を生かして歌おう	希望という名の花を	日本	山崎朋子	山崎朋子			混声三部合唱			
			夏の思い出	日本	江間章子	中田喜直			同声二部合唱	○		
		音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう	赤とんぼ	日本	三木露風	山田耕祐	山田耕祐		独唱・斉唱	○		
			この道	日本	北原白秋	山田耕祐			独唱・斉唱			
		民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう	明日を信じて	日本	小林真人	小林真人		森永千代子(編曲)	混声二部合唱			
			飛び立とう君の空へ	日本	牧原ひつじ	森谷風太			混声三部合唱			
		全体の構成を理解して表現を楽しもう	あの丘の向こうから	日本	牧原ひつじ	黒江駿介			混声二部合唱・部分混声三部合唱			
			ソーラン節	日本		北海道民謡	野木雄大(編曲)		独唱・斉唱	○		
		歌のアルバム	かりほし切り歌	日本		宮崎県民謡	仲原加昌(採譜)		独唱・斉唱	○		
			谷茶前	日本		沖縄県民謡	宮里尚子(採譜・訳譜・編曲)		独唱・斉唱	○		
		国歌			くいしんぼうのラップ	日本	和田崇(作・構成)			三部ヴォイスアンサンブル		
					海が明けるよ	日本	名取和彦	赤尾暁		混声二部合唱 部分混声三部合唱		
					夢は大空を駆ける	日本	館蓬萊	渡部節保		混声三部合唱		
					君と歩こう	日本	榎野知子	榎野知子		混声三部合唱		
					心をこめて	日本	吉岡ひとみ	吉岡ひとみ	松井孝夫(編曲)	混声三部合唱		
ほらね、	日本				いとうけいし	まつしたこう		混声三部合唱				
故郷	日本				高野辰之	岡野貞一	足本憲治(編曲)	同声二部合唱				
君が代	日本				国歌	林広守		独唱・斉唱				

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽	
教 出	2・3上	曲にふさわしい発声で歌おう	生命が羽ばたくとき	日本	人見敬子	西澤健治		混声三部合唱			
			語りあおう	日本	劇団四季文芸部	鈴木邦彦	川崎絵都夫(編曲)	混声三部合唱			
			大切なもの	日本	山崎朋子	山崎朋子		混声三部合唱			
		曲の特徴を生かして歌おう	You Can Fly!	日本	小林真人	小林真人	赤尾暁(編曲)		混声三部合唱		
			浜辺の歌	日本	林古溪	成田為三			独唱・斉唱	○	
			早春賦	日本	吉丸一昌	中田章			独唱・斉唱	○	
		曲の形式を生かして歌おう	花の街	日本	江間章子	團伊玖磨			独唱・斉唱	○	
			時計台の鐘	日本	高階哲夫	高階哲夫	佐藤麻耶(編曲)		混声三部合唱		
			そよぐ風の中で	日本	うらん	西澤健治			混声三部合唱		
		曲想を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	この星のどこかで	日本	和泉薫	赤尾暁			混声三部合唱		
			越天楽	日本	作曲者不詳		伊野義博(採譜・構成)		独唱・斉唱	○	
			能「羽衣」	日本			小早川修(採譜・構成)		独唱・斉唱	○	
歌のアルバム	カントリー・ロード	アメリカ	ダノフ、ニバート、デンバー	ダノフ、ニバート、デンバー		吉原順(編曲)		同声二部合唱		○	
	雪の降る街を	日本	内村直也	中田善直			独唱・斉唱				
	HEIWAの鐘	日本	仲里幸広	仲里幸広		白石哲也(編曲)		混声三部合唱			
	ほたるの光	イギリス(スコットランド)		スコットランド民謡		稲垣千顕(日本語詞) 池田裕之(編曲)		混声三部合唱		○	
国歌	故郷	日本	高野辰之	岡野貞一		足本憲治(編曲)		混声三部合唱			
	君が代	日本	国歌	林広守				独唱・斉唱			

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽	
教 出	2・3下	曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌おう	旅立ちの日に	日本	小嶋登	坂本浩美	松井孝夫(編曲)	混声三部合唱			
			帰れソレントへ	イタリア	G.デ・クルティス	E.デ・クルティス	徳永政太郎(訳詞)	独唱・斉唱		○	
			Top of the world	アメリカ	ベティス、カーペンター	ベティス、カーペンター	足本憲治(編曲)	同声二部合唱		○	
		曲の形式を生かして歌おう	花	日本	武島羽衣	滝廉太郎			同声二部合唱		○
			荒城の月	日本	土井晩翠	滝廉太郎			独唱・斉唱		○
			荒城の月	日本	土井晩翠	滝廉太郎	山田耕作(補作編曲)		独唱・斉唱		○
		曲想を味わいながら合わせて歌おう	椰子の実	日本	島崎藤村	大中寅二			独唱・斉唱		
			時を越えて	日本	梅野知子	梅野知子			混声三部合唱		
			長唄「勸進帳」をうたおう	日本	三世並木五瓶	四世杵屋六三郎	小塩さとみ(採譜・構成)		独唱・斉唱		○
		歌のアルバム	記念日～希望のバトン～	日本	里乃塚玲央	西澤健治			混声三部合唱		
			アメーzing・グレイス	アメリカ	ニュートン	作曲者不明	森垣桂一(編曲)		混声四部合唱		○
			火の山の子守歌	日本	谷川雁	新実徳英			混声四部合唱		
			世界がひとつの家族のよう	日本	鮎川めぐみ	千住明	菅野夏生(編曲)		混声四部合唱		
			上げば尊し	日本	不明	不明	前沢信幸(編曲)		混声四部合唱		
			さようなら	日本	倉品正二	倉品正二	佐藤麻耶(編曲)		混声三部合唱		
国歌	国歌	大地讃頌(カンタータ「土の歌」から)	日本	大木惇夫	佐藤真		混声四部合唱				
		故郷	日本	高野辰之	岡野貞一	足本憲治(編曲)	混声四部合唱				
		君が代	日本	古歌	林広守		独唱・斉唱				

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 芸	1	思いをこめて明るい声で合唱しよう。 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。 曲の構成を感じ取って歌おう。 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。 パートの役割を感じ取って合唱しよう。 曲想を生かして合唱しよう。 曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。 英語で歌おう! 「越天楽」の唱歌を歌おう 声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。 歌い継ごう日本の歌	Well Find The Way~はるか な道へ	日本	杉本竜一	杉本竜一		同声二部合唱		
			その先へ	日本	山崎朋子	山崎朋子		同声二部合唱		
			主人は冷たい土の中に (静かに眠れ)	アメリカ	S. C. フォスター	武井君子(日本語詞) 浦田健次郎(編曲)	独唱・斉唱とリコーダー		○	
			浜辺の歌	日本	林古溪	成田為三	独唱・斉唱		○	
			赤とんぼ	日本	三木露風	山田耕作	独唱・斉唱		○	
			朝の風に	日本	安西薫	長谷部匡俊	混声二部合唱			
			君をのせて	日本	宮崎駿	久石譲	混声三部合唱	三宅悠太(編曲)		
			Let's Search For Tomorrow	日本	堀徹	大澤徹訓	混声三部合唱			
			Edelweiss	アメリカ	O.ハマースタイン 2世	R. ロジャーズ	阪田寛夫(日本語詞)	独唱・斉唱		○
			越天楽	日本			中村仁美(採譜)	独唱・斉唱		○
			ソーラン節	日本		北海道民謡	伊藤多喜雄(採譜・監修)	独唱・斉唱		○
			涙そうそう	日本	森山良子	BEGIN	佐井孝彰(編曲)	同声二部合唱		
			上を向いて歩こう	日本	永六輔	中村八大		独唱・斉唱		
			ふるさと(全校合唱)	日本	高野辰之	岡野貞一	黒部美樹(編曲)	混声二部合唱		
			Forever	日本	杉本竜一	杉本竜一		同声二部合唱		
			飛び出そう 未来へ	日本	平野祐香里	鹿谷美緒子		混声二部合唱		
			友達の友達	日本	御徒町風	アベタカヒロ		同声二部合唱		
			Yes!!	日本	北方寛文	北方寛文		同声二部合唱		
			unlimited (ア ンリミテッド)	日本	桑原永江	若松敏		同声二部合唱		
			君は君でいい	日本	里乃塚玲央	森山至貴		混声二部合唱		
星座	日本	長井理佳	長谷部匡俊		混声三部合唱					
カリブ 夢の旅	日本	平野祐香里	橋本祥路		混声三部合唱					
マイ パラード	日本	松井孝夫	松井孝夫		混声三部合唱					
あすという日が	日本	山本禊子	八木澤教司		混声三部合唱					
COSMOS	日本	ミマス	ミマス	富澤裕(編曲)	混声三部合唱					
国歌「君が代」	日本	古歌		林広守		独唱・斉唱				

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽		
教 芸	2・3 上	拍にのって、響きのある声で合唱しよう。 パートの役割を理解して合唱しよう。 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 歌詞と旋律が生み出す雰囲気味わいながら歌おう。 旋律の動きを理解して合唱しよう。 曲想を生かして表情豊かに歌おう。 曲想の変化を生かして表情豊かに歌おう。 歌詞と旋律の関わりを生かして合唱しよう。 声や音楽の特徴を生かして長唄を唄おう。 声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語らう。 歌い継ごう日本の歌	夢の世界を翼をください	日本	芙蓉明子	橋本祥路			混声三部合唱			
			夏の思い出	日本	山上路夫	村井邦彦	鶴原勇夫(編曲)		混声三部合唱			
			荒城の月	日本	江間章子	中田喜直				同声二部合唱	○	
			荒城の月	日本	土井晩翠	滝廉太郎				独唱・斉唱	○	
			夏の日の贈りもの	日本	高木あきこ	滝廉太郎	滝廉太郎	山田耕柞(補作編曲)		独唱・斉唱	○	
			サンタ ルチア (Santa Lucia)	イタリア		ナポリ民謡		小松清(日本語詞)		混声二部合唱		○
			Joyful Joyful		H. v. ダイク	ベートーヴェン、M. ウォーレン		東野ひろあき(日本語詞) 滝口亮介(編曲)		独唱・斉唱		○
			メッセージ	日本	星梨津子	佐井孝彰				混声三部合唱		
			長唄「勸進帳」から	日本	三世並木五瓶	四世村屋六三郎		今藤政太郎(監修・採譜)		独唱・斉唱	○	
			義太夫節「野崎村の段」から	日本	近松半二			豊竹呂勢太夫(監修・採譜)		独唱・斉唱	○	
			やさしさに包まれたなら	日本	荒井由実	荒井由実		アベタカヒロ(編曲)		同声二部合唱		
			夏は来ぬ	日本	佐佐木信綱	小山作之助		三宅悠太(編曲)		混声四部合唱		
			ふるさと(全校合唱)	日本	高野辰之	岡野貞一		黒部美樹(編曲)		混声三部合唱(部分) 混声四部合唱		
			ハートのアンテナ	日本	杉本竜一	杉本竜一		富澤裕(編曲)		混声三部合唱		
My Own Road 一僕が創る明日	日本	梅野知子	梅野知子				混声三部合唱					
未来への旅	日本	杉本深由起	佐井孝彰				混声三部合唱					
大切なもの	日本	山崎朋子	山崎朋子				混声三部合唱					
ぜんぶ	日本	さくらももこ	相澤直人				混声三部合唱					
時の旅人	日本	深田じゅんこ	橋本祥路				混声三部合唱					
蛍の光	スコットランド		スコットランド民謡		稲垣千嗣(日本語詞) 市川都志春(編曲)		混声三部合唱					
国歌「君が代」	日本	古歌	林広守				独唱・斉唱					

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽	
教 芸	2・3下	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱しよう。 詩や曲の背景を理解して歌おう。 情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう。 声が響き合う美しさを味わいながら合唱しよう。 曲想を生かして表情豊かに歌おう。 歌詞と旋律の関わりに注目して合唱しよう。 曲の雰囲気を生かして英語の歌を歌おう。 声や音楽の特徴を生かして謡を謡おう。 歌い継ごう日本の歌 心通う合唱	花	日本	武島羽衣	滝廉太郎		同声二部合唱	○		
			花の街	日本	江間章子	團伊玖磨		独唱・斉唱	○		
			早春賦	日本	吉丸一昌	中田章	中田喜直(伴奏編曲)		独唱・斉唱	○	
			Amazing Grace	アメリカ	J. ニュートン	アメリカの古い旋律	三宅悠太(編曲)		混声三部合唱		○
			帰れソレントへ(Tor na a Surri ento)	イタリア	G. B. デ クルティス	E. デ クルティス	芙蓉明子(日本語詞)		独唱・斉唱		○
			きみとともに	日本	池上尊	三宅悠太			混声三部合唱		
			Let It Be	イギリス	J. レノン・P. マツカートニー	J. レノン・P. マツカートニー			独唱・斉唱		○
			謡「敦盛」から	日本	世阿弥		清水寛二(採譜・監修)		独唱・斉唱	○	
			中之舞	日本			清水寛二(楽譜構成)		独唱・斉唱	○	
			花は咲く	日本	岩井俊二	菅野よう子	菅野よう子(編曲)		同声二部合唱		
			椰子の実	日本	島崎藤村	大中寅二			独唱・斉唱		
			ふるさと(全校合唱)	日本	高野辰之	岡野貞一	黒部美樹(編曲)		混声四部合唱		
			忘れることなんかできな	日本	若松敏	若松敏			混声三部合唱		
			この町が好き	日本	才木奈津子	横山潤子			混声三部合唱		
			旅立ちの日に	日本	小嶋登	坂本浩美	松井孝夫(編曲)		混声三部合唱		
春に	日本	谷川俊太郎	木下牧子			混声三部合唱					
大地讃頌(カンタータ「土の歌」から)	日本	大木惇夫	佐藤真			混声四部合唱					
仰げば尊し	日本	不詳	不詳	市川都志春(編曲)		混声四部合唱					
国歌「君が代」	日本	国歌	国歌	林広守		独唱・斉唱					

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 出	1	無理のない自然な声の出方で歌おう	アニメ・ローリー	イギリス (スコットランド)		スコット夫人	和田崇(編曲) 藤浦流(日本語詞)	リコーダー重奏・合奏		○
		箏(こと)を弾いてみよう	さくらさくら	日本		日本古謡	伊野義博(構成)	箏独奏・斉奏	○	
	民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう	谷茶前	日本		沖縄県民謡	宮里尚子(採譜・訳譜・編曲)	合奏(リコーダー・三線またはマリンバ・三板またはウッドブロック・締太鼓またはスネアドラム・大太鼓またはノストラム)	○		
	曲の形式を生かして歌おう	浜辺の歌	日本	林古溪	成田為三		リコーダー独奏・斉奏	○		
	リズムパターンをつくらう	オーラ・リー	アメリカ		ブールトン		リコーダー独奏・斉奏	○		
	2	平調子の特徴を生かして音楽をつくらう	さくらさくら	日本		日本古謡		リコーダー・箏独奏	○	
	3	唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう	能の音楽を体験しよう「越天楽」	日本		作曲者不詳	伊野義博(採譜・構成)	箏・鉦太鼓・鉦鼓、鞆鼓	○	
	上	(打ちものと箏の唱歌)	能「羽衣」	日本			小早川修(採譜・構成)	謡、大鼓、小鼓、太鼓	○	
		歌のアルバム	カントリー・ロード	アメリカ	ダノフ、ニバート、テンバー	ダノフ、ニバート、テンバー	吉原順(編曲)	リコーダー重奏・合奏	○	○

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 芸	1	曲の構成を感じ取って歌おう。	主人は冷たい土の中に (静かに眠れ)	アメリカ		S. C. フォスター	武井君子(日本語詞) 浦田健次郎(編曲)	独唱・斉唱とリコーダー		○
	2	「中之舞」に挑戦しよう	「中之舞」	日本			清水寛二(楽譜構成)	大鼓・小鼓	○	
	3									
下										

発行者	学年	題材(項目)名	具体的な学習活動	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 出	1	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう 全体の構成を考えながら音楽をつくろう	七五調の短い歌詞をつくってリズムをつけ、言葉の抑揚にそって音をあてはめる。チャレンジとして、音を増やしたり終わりの音を工夫したりし、みんなで聴き合う。 グループで表現したいテーマを決め、言葉で表す。テーマに沿った簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽を創作する。		
	2・3	リズムパターンをつくろう 平調子の特徴を生かして音楽をつくろう	基本のリズムを変化させ、リズムパターンをつくる。「オーラ・リー」にふさわしい16小節のリズムパターンをつくり演奏する。チャレンジとして、リズムパターンを、体や楽器を使って表現する。 平調子で使われている音とリズムを組み合わせて、短い旋律をつくり、リコーダーや筆で表現する。さらに、「さくらさくら」のイメージに合うように作品をつくる。	○	○
	2・3	言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう CMソングをつくろう	身近な言葉のリズムや抑揚を生かして8拍の曲を二種類つくり、2~3人で重ねて表現する。また、つくった作品を繰り返して表現したり、他の人の作品とつなげて表現したりして楽しむ。 地域をPRする歌詞をつくり、3音もしくは5音で16拍の旋律を創作する。つくった旋律を繰り返して、自由に構成して完成させる。		

発行者	学年	題材(項目)名	具体的な学習活動	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 芸	1	リズムゲーム リズムチャレンジ 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。 構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	好きなリズムを選び、4分の4拍子1小節のリズムを創作する。 4小節のリズムを創作する。 リズムチャレンジで創作したリズムに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくる。 場面に合う音楽材を探して音楽をつくる。グループで話し合いながら、構成を工夫する。		
	2・3	リズムゲーム リズムチャレンジ 言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	好きなリズムを選び、4分の4拍子1小節のリズムを創作する。 4小節のリズムを創作する。 言葉の抑揚に合わせて、4分の4拍子4小節の旋律をつくる。 初めに作成した「リズムのもと」を用い、いくつかのリズムを重ねながらリズムアンサンブルを創作する。		
	2・3	ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。 音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう。	和声進行に合わせて順次進行、跳躍進行を用いながら段階的に旋律を創作する。 創作した二つの異なるリズムパターンを組み合わせて、構成を工夫しながらリズムアンサンブルを創作する。		

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 b、f、g 鑑賞】 (中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	時代	作曲者名	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 外国の音楽
1		郷土のさまざまな民謡	谷茶前	日本		沖縄県民謡	独唱・斉唱	○	
			こざりこ節	日本		富山県民謡	独唱・斉唱	○	
			「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章	イタリア	バロック	ヴィヴァルディ	独奏ヴァイオリンと弦楽合奏	○	
			「和声と創意の試み」第1集「四季」から「秋」第1楽章	イタリア	バロック	ヴィヴァルディ	独奏ヴァイオリンと弦楽合奏	○	
			弦楽合奏のセレナード 第1楽章	ロシア	ロマン派	チャイコフスキー	弦楽合奏	○	
			魔王 他(計2曲)	オーストリア 他	ロマン派 他	シューベルト 他	独唱	○	
			野ばら	オーストリア	ロマン派	シューベルト	独唱	○	
			舞曲「六段の調」	日本	江戸時代	八橋椋校	箏独奏	○	
			尺八曲「鹿の遠音」	日本		作曲者不詳	二重奏	○	
			グージョン「漁舟唱晚」他(計2曲)	中国 他				○	
2・3 上		わが国やアジア地域の、多様な豊かな声による表現を鑑賞しよう	天台声明 他(計6曲)	日本 他	6世紀ごろ 他			○	
			さらさら星変奏曲	オーストリア	古典派	モーツァルト	ピアノ独奏	○	
			ホレロ	フランス	近代・現代	ラヴェル	管弦楽	○	
			組曲「惑星」から第1曲「火星」	イギリス	近代・現代	グスターヴ・ホルスト	管弦楽	○	
			ハレエ「春の祭典」から 序奏～春のさざし	ロシア	近代・現代	ストラヴィンスキー	管弦楽	○	
			交響曲第5番 八短調 作品67	ドイツ	古典派	ベートーヴェン	管弦楽	○	
			小フーガ ト短調	ドイツ	バロック	J. S. バッハ	パイプオルガン独奏	○	
			交響組曲「シエララザード」から 第2楽章	ロシア	ロマン派	リムスキー・コルサコフ	管弦楽	○	
			雅楽「越天楽」(平調) - 管絃一	日本		日本古曲	管絃	○	
			左舞「万歳楽」	日本		日本古曲	舞楽	○	
2・3 下		雅楽の多様な表現を鑑賞しよう	右舞「狛神楽」	日本		日本古曲	舞楽	○	
			能「羽衣」キリから 「東遊びの数々に～」の部分	日本	室町時代	作者不詳	能	○	
			鹿踊 他(計12曲)	日本				○	
			「アルルの女」第1組曲「前奏曲」	フランス	ロマン派	ビゼー	管弦楽	○	
			ブルタバ(モルダウ) 運作交響詩「我が祖国」から	チェコ	ロマン派	スメタナ	管弦楽	○	
			交響詩「フィンランディア」	フィンランド	ロマン派	シベリウス	管弦楽	○	
			組曲「展覧会の絵」から	ロシア	ロマン派	モデスト・ムソルグスキー	管弦楽	○	
			オペラ「アイダ」から 第2幕 第2場	イタリア	ロマン派	ヴェルディ	歌劇	○	
			ハレエ「白鳥の湖」から	ロシア	ロマン派	チャイコフスキー	管弦楽	○	
			シンジュ(京劇)「西遊記」から 他(計2曲)	中国 他			音楽劇	○	
2・3 下		歌劇や文楽の豊かな表現を鑑賞しよう	歌舞伎「勳進帳」	日本	江戸時代	四世梓屋六三郎	歌舞伎	○	
			文楽「義経千本桜」から 二段め 大物浦の段	日本	江戸時代	二世竹田出雲・三好松浩・並木千柳(合作)	文楽	○	
			ハンソリ 他(計2曲)	朝鮮半島 他				○	
			オラトリオ「メサイア」第2部から「ハレルヤ」他(計5曲)	ドイツ 他	バロック 他	ヘンデル 他		○	

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	時代	作曲者名	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 芸	2・3 上	イメージをもたらず音楽の秘密を探らう。	映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」他(計3曲)	アメリカ	現代	J. ウィリアムズ	管弦楽		○
		音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	春 ー 第1楽章ー (「和声と創意の試み」第1集「四季」から)他(計4曲)	イタリア	バロック	ヴィヴァルディ	独奏ヴァイオリンと弦楽合奏		○
		曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取り聴こう。	魔王 ーErlkönigー他(計2曲)	オーストリア	ロマン派	シューベルト	独唱		○
		日本に古くから伝わる合奏を聴こう。	雅楽「平調 越天楽」ー管絃ー	日本		作曲者不詳	管絃	○	
		日本に古くから伝わる華の音楽を聴こう。	箏曲「六段の調」	日本	江戸時代	八橋検校	箏独奏	○	
		人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。	日本の民謡 南部牛追唄 他(計3曲)	日本				○	
		アジア各地の音楽を聴こう。	ドゥドック 他(計5曲)	アジア 他					○
		曲想を生かして表情豊かに歌おう。	オ ソーレ ミオ 他(計2曲)	イタリア		E. デイ カーブア 他	独唱・斉唱		○
		旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	フーガ ト短調 他(計2曲)	ドイツ	バロック	バッハ	バイプオルガン独奏		○
		曲の構成に注目しながら、曲想の裏化を味わおう。	交響曲第5番 ハ短調	ドイツ	古典派	ベートーヴェン	管弦楽		○
		オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	「アイーダ」から	イタリア	ロマン派	ヴェルディ	歌劇		○
		歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。	歌舞伎「勳進帳」	日本	江戸時代	四世村屋六三郎	歌舞伎	○	
		文楽に親しみ、その音楽を味わおう。	文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段”	日本	江戸時代	近松半二	藝太夫節	○	
		世界のさまざまな声の音楽を味わおう。	グリオ 他(計4曲)						
2・3 下	2・3 下	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。	ブルタバ(モルダウ) (運作交響詩「我が祖国」から)他(計2曲)	チェコ 他	ロマン派 他	スメタナ 他	管弦楽		○
		楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。	ボレロ	フランス	現代	ラヴェル	管弦楽		○
		日本に古くから伝わる尺八の音楽を味わおう。	尺八楽「巢鶴鈴慕」	日本	江戸時代	作曲者不詳	尺八独奏	○	
		能に親しみ、その音楽を味わおう。	能「敦盛」	日本	室町時代～安土・桃山時代	世阿弥 作	能	○	
		浄瑠璃の伝統芸能「細路」に親しもう。	「執心鐘入」	日本			細路	○	
		伝統音楽の魅力を見つけよう	能「安宅」	日本	室町時代～安土・桃山時代	作者不詳	能	○	
		世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。	歌舞伎「勳進帳」	日本	江戸時代	四世村屋六三郎	歌舞伎	○	
		ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	文楽「鳴響安宅新聞」 “勳進帳の段”	日本	江戸時代	二世豊澤回平	文楽	○	
		耳でたどる音楽史	タンゴ 他(計3曲)	朝鮮半島 他					○
			ウィ ウィル ロック ユー 他(計3曲)	イギリス 他					○
			グレゴリオ聖歌 他(計70曲)						○

発行者	学年	○ [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d [共通事項]の「知識」について示された箇所
教 出	1	●P6 強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。	●P7 二分音符、テヌート、拍子
		●P9 構成を生かして、どんな表現の工夫ができるか、考えてみよう。	●P10 強弱や音域を意識して表現しよう。
		●P9 強弱記号や音の高さも意識して、声の出し方なども工夫してみよう。	●P11 イ短調・ハ長調、Moderato、主要三和音、調
		●P14 曲想を感じ取り、形式を生かして表現を工夫しよう。	●P13 テヌート
		●P16 曲の形式を生かして表現を工夫しよう。	●P14 曲想と形式との関わりを理解して、音域に応じた声で歌おう。
		●P18 歌い方を工夫してみよう。	●P15 pp、三連符、dim、フェルマータ
		●P20 主旋律や曲想の変化を生かして表現を工夫しよう。	●P18 旋律
		●P25 主旋律の声部を確かめ、曲にふさわしいバランスを考えながら表現しましょう。	●P20 曲全体の構成と自分のパートの役割を理解して歌おう。
		●P28 民謡にふさわしい声で、確しことばや伴奏に合わせて表現を工夫しよう。	●P21 4分の4拍子、全音符、D.S.、速度、強弱
		●P32 言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。	●P22 音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう。
		●P32 言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。	●P23 rit.、allegro、f
		●P34 言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。	●P24 楽譜の見方
		●P34 言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。	●P26 曲想と曲の構成との関わりを生かして歌い合わせよう。
		●P50 音色(おんしよく)や余韻の変化を味わおう	●P27 accel.
		●P56 音楽の特徴や役割を捉え、多様性を考えながら鑑賞しよう。	●P28 声の出し方や歌い合わせ方などの特徴を理解して歌おう。4分の2拍子、拍子
		●P58 歌詞と音楽との関係を感じ取り、声の出し方を工夫しよう。	●P29 旋律の装飾やまとまりを捉えて歌おう。
		●P59 リズムや音階の特徴を感じ取り、声の出し方を工夫して歌おう。	●P29 拍、非拍節的リズム、拍節的リズム
		●P61 演奏台奏の豊かな表現を聞き取ろう。	●P31 五音階、拍節
		●P63 音楽の特徴を聞き取り、それぞれの関連を考えながら鑑賞しよう。	●P32 リズム
		●P70 曲想の変化を感じ取りながら工夫して歌おう。	●P34 構成
		●P74 主旋律を意識し、声部の役割を生かしてゆったり歌おう。	●P36 2分の2拍子
		●P76 強弱の変化や転調の効果を生かして、合わせて歌おう。	●P38 リトルネット形式による曲の構成を聞き取ろう。曲想の変化を形式やソネットと関わりながら鑑賞しよう。
		●P80 歌詞の内容を味わいながら歌おう。	●P39 リトルネット形式
			●P41 Allegro
			●P43 「奏」第1楽章と同じ形式を聞き取ってみよう。リトルネット形式、構成
			●P44 曲全体の構成を理解して、各登場人物の表現を聞き取ろう。曲想の変化を物語の進行と関わりながら鑑賞しよう。
			●P45 歌曲の形式の違いを鑑賞しよう。旋律
			●P48 用いられる音階や曲の構成などの特徴を聞き取ろう。導曲や尺八曲の共通点や相違点を捉えながら鑑賞しよう。
	●P48 平調子、構成、音階		
	●P49 速度の変化を聞き取ってみよう。リズム、音色、拍		
	●P50 音色		
	●P51 尺八の音色や奏法などの特徴を聞き取ってみよう。間、音色		
	●P52 平調子、拍		
	●P53 平調子、拍、旋律		
	●P54 声の出し方や歌い合わせ方などの特徴を聞き取ろう。拍、拍子		
	●P60 音色、旋律		
	●P61 音色		
	●P62 形式に着目しながら聞き取ってみよう。構成、旋律		
	●P63 音色		
	●P64 音楽を形づくっている要素		
	●P68 二つの声部の関わりを生かして歌おう。		
	●P69 Legato、調		
	●P71 D.C.		
	●P72 他の声部を聞きながら、声部の役割を生かして合わせて歌おう。		

発行者	学年	c [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d [共通事項]の「知識」について示された箇所
教 出	2 . 3 上	●P6 歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。	●P8 速度、強弱、旋律
		●P6 旋律のまとまりを捉えて、音域に応じた発声で歌おう。	●P9 速度、強弱
		●P10 旋律のまとまりや反復を生かして、表現を工夫しよう。	●P14 曲想と形式との関わりを理解して、強弱や音域に応じた声で歌おう。
		●P12 歌詞の発音や他の声部との関わりを生かして、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	●P15 拍子/形式
		●P14 曲想を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。	●P19 二部形式、旋律
		●P16 曲の形式を生かして表現を工夫しよう。	●P20 曲想と曲全体の構成との関わりを理解して、他の声部を聴き取りながら歌おう。
		●P20 全体の響きを味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	●P22 4分の4拍子、速度
		●P24 曲想を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	●P23 r i t .、強弱
		●P26 リズムの組み合わせや反復を工夫して、リズムパターンをつくろう。	●P24 曲想と曲全体の構成との関わりを理解して、全体の響きを聴きながら歌おう。
		●P28 旋律のつながり方を工夫して、まとまりのある音楽をつくろう。	●P26 音符のつながり方によるリズムの速いを理解して、つなげる音符を選ぼう。リズム
		●P28 平調子の響きや旋律のまとまりを捉えてリズムを選ぼう。	●P28 平調子、リズム、旋律
		●P33 拍子やリズムの特徴に着目し、曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう。	●P30 リズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取ろう。曲想と曲全体の構成を聞かせながら鑑賞しよう。構成、音色、強弱
		●P34 曲想と音楽の構成を聞かせて味わいながら鑑賞しよう。	●P31 構成
		●P40 ささまざまな音楽の共通点や相違点を考えながら鑑賞しよう。	●P32 音色、リズム、旋律、強弱
		●P44 拍やリズム、リズムの旋律(塩梅など)の特徴を感じ取ろう。	●P33 5拍子、リズム
		●P46 音楽の役割を考えながら、多様な表現を鑑賞しよう。	●P34 ソナタ形式やフーガなどによる曲の構成を聴き取ろう。動機、リズム、音色、構成
		●P52 歌詞のまとまりやフレーズとの関連を生かして表現を工夫しよう。	●P35 動機、リズム
		●P55 歌詞の内容を味わい、全体の響き聴きながら合わせて歌おう。	●P38 ソナタ形式
		●P57 リズムや旋律の特徴に着目し、曲想を味わいながら鑑賞しよう。	●P39 フーガの形式を聴き取ってみよう。調、構成、ソナタ形式
		●P58 主題の反復、変化や、オーケストラの豊かな表現を聴き取ろう。	●P40 雅楽の背景を理解して表現の特徴を聴き取ろう。音色、旋律
●P59 音楽の特徴と舞台の表現との関連に着目しながら鑑賞しよう。	●P42 序破急		
●P74 二拍子による雰囲気や特徴を捉え、英語の発音を生かして表現しよう。	●P43 舞楽の表現の特徴を聴き取ってみよう。		
●P75 歌詞の内容を味わい、転調の効果を生かして表現を工夫しよう。	●P44 拍、リズム、旋律、音色		
●P79 楽曲全体の構成を理解し、曲想を味わいながら合わせて歌おう。	●P46 舞や動きと関係する音楽の特徴を聴き取ろう。		
●P80 歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取って歌おう。	●P50 フレーズ		
	●P56 リズム、旋律		
	●P57 拍子、速度、旋律、リズム		
	●P58 旋律		
	●P61 間		
	●P63 間、拍、リズム		
	●P64 音楽を形づくっている要素		
	●P74 2分の2拍子		

発行者	学年	c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 出	2 ・ 3 下	●P6 フレーズや速度の変化を生かして、ふさわしい表現を工夫しよう。	●P6 曲の特徴を理解して、他の声部や伴奏と合わせて歌おう。
		●P8 フレーズを生かして歌ってみよう。	●P8 フレーズ
		●P8 リビートまでどのようなまどまりで歌うか、それを生かしてどう表現を工夫するかを考えてみよう。	●P9 速度、強弱
		●P9 曲の山場（クライマックス）も考え、歌いながら表現を工夫してみよう。	●P11 向主調転調
		●P10 フレーズや速度の変化を生かして表現を工夫しよう。	●P12 曲題と形式や歌詞との関わりを理解して、強弱や音域に応じた発声で歌おう。
		●P12 曲題を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。	●P13 十六分休符
		●P16 形式を生かして表現を工夫しよう。	●P17 Andante
		●P19 強弱の変化やプレスの取り方を工夫しながら歌ってみよう。	●P19 フレーズ、二部形式、強弱
		●P20 全体の響きを味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	●P20 曲題と曲全体の構成との関わりを理解して、他の声部を聴き取りながら歌おう。
		●P22 言葉の反復や重ねを生かして、まどまりのある表現で工夫しよう。	●P22 リズム
		●P22 言葉のリズムやまどまりを捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。	●P23 リズム
		●P22 言葉のリズムを確かめ、抑揚を生かして表現してみよう。	●P24 リズム、旋律
		●P23 言葉のリズムを確かめながら、抑揚を生かして表現してみよう。	●P25 旋律、構成
		●P24 言葉のリズムや抑揚を捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。	●P26 音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴き取ろう。
		●P24 連んだ言葉のつなげ方を工夫してCMソングをつくろう。	●P32 他の芸術と関係する音楽の役割や効果を聴き取ろう。
		●P26 曲題と曲全体の構成との関わりを考えながら鑑賞しよう。	●P37 音楽と舞台の表現を関連づけながら鑑賞しよう。
		●P31 曲題の変化を感じ取りながら鑑賞しよう。	●P40 音色
		●P32 音楽と舞台による表現の関連を考えながら鑑賞しよう。	●P41 間
		●P38 舞台芸術での音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。	●P42 音楽と人形の表現とを関連づけながら鑑賞しよう。 音色
		●P38 音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取ろう。	●P43 間
●P46 英語の歌詞の発音、リズムや強弱の設定を生かして表現を工夫しよう。	●P44 旋律		
●P48 滝 廉太郎の原曲と比較しながら表現しよう。	●P46 2分の2拍子		
●P49 五七調の歌詞のまどまりを生かして表現を工夫しよう。	●P51 曲題の変化と音楽の構成との関わりを理解して鑑賞しよう。		
●P51 それぞれの曲題を感じ取りながら鑑賞してみよう。	●P52 音楽と舞台との関わりを理解して鑑賞しよう。		
●P52 登場人物の心情を想像しながら鑑賞しよう。	●P52 音楽と舞台の表現との関わりや、それぞれの特徴を捉えながら鑑賞しよう。		
●P53 物語を表現する音楽の多様性を聴き取ろう。	●P53 歌舞伎や文楽の表現と比較して、特徴を捉えながら鑑賞しよう。		
●P55 各声部の現れ方やテクスチャを聴き取りながら、合唱とオーケストラによる豊かな表現を味わってみよう。	●P53 物語の進行とガムランで表現される音楽との関係に着目しながら鑑賞しよう。		
●P56 ソナタ形式による構造を聴き取りながら、弦楽四重奏の豊かな表現を味わってみよう。	●P54 拍節的でないリズム		
●P57 楽曲全体の構成と曲題の変化との関わりを感じ取りながら、ピアノの豊かな響きを感じ取りながら、楽曲全体の曲題を味わってみよう。	●P55 テクスチャ		
●P58 女声独唱とアンサンブルによる伴奏との関わりや、独特な響きを感じ取りながら、楽曲全体の曲題を味わってみよう。	●P56 ソナタ形式		
●P59 電子音や楽器の音色や響き、それらのテクスチャ、「コンタクト」が意味するものを想像し、現代音楽の魅力を考えて鑑賞してみよう。	●P57 形式、構成		
●P70 A B Cの曲題とその変化を感じ取り表現を工夫しよう。	●P58 調、拍子		
●P72 英語の歌詞の発音や旋律のまどまりを意識し、美しいハーモニーで表現しよう。	●P59 拍子		
●P73 速度や強弱の変化を生かし、ア・カペラによる美しいハーモニーで表現しよう。			
●P74 歌詞の内容を味わい、曲の山場（クライマックス）を考えて歌おう。			
●P76 歌詞の内容を味わい、混声四部合唱で豊かに表現しよう。			
●P77 歌詞の内容を味わい、気持ちよさをこめて歌おう。			
●P78 歌詞の内容や声部の役割を生かし、豊かなハーモニーで表現しよう。			
●P80 歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取り歌おう。			

発行者	学年	○ 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 芸	1	●P10 歌詞にこめられた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。	●P10 音色・テクスチャ
		●P10 旋律の重なり方に注目し、互いの声を聴き合って歌いましょう。	●P11 2分休符
		●P12 旋律の動きや強弱に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。	●P12 旋律・強弱
		●P18 旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。	●P13 D、S
		●P21 創意工夫して旋律をつくりましょう。	●P18 旋律・強弱・形式・構成
		●P22 音のつながり方を工夫しながら1小節目と2小節目の旋律をつくりましょう。	●P19 Andante、フェルマータ、リズム、強弱、速度
		●P26 旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。	●P20 ヘ音譜表
		●P28 8分の6拍子によって、フレーズを感じ取りながら歌いましょう。	●P21 リズム・旋律、和音
		●P28 8分の6拍子や強弱の変化がどのように曲想と関わっているかを感じ取り、表現を工夫して歌いましょう。	●P22 旋律、和音
		●P30 主旋律と副旋律の役割や、旋律の重なり方の違いに気を付けて、表現を工夫して歌いましょう。	●P26 リズム・旋律・強弱・形式
		●P30 パートの役割と旋律の重なり方	●P27 rit、フレイズ、二部形式
		●P32 短調の旋律が生み出す雰囲気を感じ取りながら、表現を工夫して歌いましょう。	●P28 旋律・強弱
		●P34 音楽の特徴に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。	●P30 音色・リズム・テクスチャ
		●P40 強弱や構成を工夫して音楽をつくりましょう。	●P31 全休符
		●P42 オペラ「カルメン」（ビゼー作曲）の「前奏曲」を聴きながら指揮をして、音楽の特徴を感じ取りましょう。	●P32 旋律・テクスチャ・強弱
		●P44 音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P33 3連符、legato、ホ短調
		●P48 詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P34 速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成
		●P52 楽器の音色や旋律の特徴などに気を付けながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P35 a tempo、ff
		●P55 楽器の音色や旋律の特徴を感じ取りましょう。	●P36 速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成
		●P56 楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら、楽曲のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P38 旋律の動きや拍子を意識しながら、発音に気を付けて英語で歌ってみましょう。 Moderato
		●P58 声の音色、節回しやリズムの特徴などに気を付けながら、日本の民謡のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P39 音楽から得られるイメージと、音楽の特徴との関わり方に注目しながら聴きましょう。 強弱・速度・リズム・音の高低・音色
		●P60 声の音色や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して歌いましょう。	●P40 音色・テクスチャ・強弱・構成
		●P64 楽器や声の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P42 Allegro、速度・旋律・強弱・構成
		●P70 歌詞にこめられた気持ちや情景を想像しながら歌いましょう。	●P43 拍、拍子、強弱
		●P72 各部分のリズムや旋律の音の動きの特徴などから曲想を感じ取って歌いましょう。	●P44 音色・旋律・テクスチャ・強弱・形式、構成
		●P73 パートの役割や重なり方の変化に注目しながら、互いのパートをよく聴き合って歌いましょう。また、歌詞全体の雰囲気と曲想との関わりを感じ取りながら、表現を工夫しましょう。	●P45 リトルネロ形式
●P74 「曲の山」がどこにあるかを感じ取り、曲の構成を生かして表現を工夫しましょう。	●P48 旋律の雰囲気や歌い方の違いに注目しながら聴きましょう。 音色・旋律・テクスチャ・強弱		
●P76 旋律のリズムの特徴を生かした歌い方を工夫しましょう。	●P49 pp		
●P80 女声と男声の重なり方、強弱、伴奏の低音（左手）のリズム、速度の変化などに注目しながら、どのように表現したらよいかを考えて歌いましょう。	●P52 平調、音色・旋律・テクスチャ		
●P84 AとBの対比を生かして表現を工夫しましょう。	●P53 フレーズ、間		
●P86 各部分の曲想を捉えて表現を工夫しましょう。	●P55 旋律、リズム、拍子		
●P88 特徴を感じ取り、各部分にふさわしい表現を工夫しましょう。	●P56 平調子、音色・速度・旋律・構成 ●P58 音色・リズム・旋律・形式 ●P59 拍のある音楽・拍のない音楽 ●P60 音色・旋律・テクスチャ ●P63 序破急、間、音階 ●P64 音色・リズム・速度・旋律 ●P65 拍のない音楽、五音階		

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 ○ [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所、d [共通事項]の「知識」について示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	○ [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d [共通事項]の「知識」について示された箇所
教 芸	1		●P67 音楽を形づくっている要素
			●P69 D.C.
			●P72 3連符、強弱
			●P73 ト長調
			●P75 16分休符
			●P76 拍
			●P82 ピアノ伴奏の形の変化にも注目しながら歌いましょう。
			●P85 a c c e l .、テヌート
			●P93 音色・リズム、速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成、拍のない自由なリズム

発行者	学年	○ [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d [共通事項]の「知識」について示された箇所
教 科 書	2 3 上	●P10 曲想の連いを感取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P10 音色・リズム・テクスチャ・構成
		●P14 それぞれの曲想の連いやパートの役割を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P14 リズム・テクスチャ・構成、変口長調
		●P20 曲想と歌詞との結び付きに注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P15 Moderato
		●P24 短調の旋律が生み出す独特な雰囲気を感じ取りながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P16 リズム・テクスチャ・強弱・構成
		●P26 旋律の動きやフレーズ、強弱の変化に注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P20 音色・リズム・旋律・強弱・形式
		●P30 旋律の特徴を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P21 dim.、二長調
		●P32 曲想の連いを感取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P22 旋律・強弱、フレーズ、二部形式
		●P34 歌詞の内容や語感、旋律の動き、強弱の変化に気をつけながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P24 旋律、口短調、リズム
		●P36 創意工夫して旋律をつくりましょう。	●P26 旋律・強弱
		●P38 創意工夫して音楽をつくりましょう。	●P29 フレーズ、旋律
		●P40 次々と現れる主題に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P30 音色・旋律・強弱
		●P40 バイオオルガンの豊かな響きを感じ取りながら聴きましょう。	●P31 リズム
		●P44 動機を繰り返すことや変化に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P32 リズム・速度・旋律
		●P44 オークストラの豊かな響きを感じ取りながら聴きましょう。	●P34 旋律・強弱
		●P50 「交響曲第5番短調」を聴きながら指揮をして音楽の特徴を感じ取りましょう。	●P36 リズム・旋律、4分の4拍子、民謡音階
		●P52 登場人物の気持ちや想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P38 リズム・テクスチャ・構成、4分の4拍子
		●P52 音楽、文学、演劇、舞踊、美術などが一体となったオペラの特徴を感じ取り、表現を工夫して歌いましょう。	●P39 速度、強弱
		●P58 声や楽器の音色、旋律の特徴などに気をつけながら、長唄のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P40 音色・テクスチャ・形式
		●P58 音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P44 音色・リズム・旋律・形式・構成、動機
		●P60 模範演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して歌いましょう。	●P46 Allegro、複合三部形式、ソナタ形式
●P64 声や楽器の音色、旋律の特徴などに気をつけながら、義太夫節のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P47 動機、リズム、速度、音色		
●P64 太夫、三味線、人形が一体となって表現する文楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P50 リズム・旋律・強弱・構成		
●P66 模範演奏を聴いたりまねたりしながらセリフの抑揚や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して語りましょう。	●P51 拍、強弱、拍子		
●P70 声の音色や旋律の特徴などに気をつけながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P52 音色・旋律・テクスチャ		
●P74 声部の間わり合いを理解して、曲にふさわしい表現を工夫しましょう。	●P56 間		
●P76 歌詞の表す情景と、パートの役割や伴奏の雰囲気の変化に注目して表現を工夫しましょう。	●P58 音色・リズム、速度・旋律		
●P78 歌詞にこめられた気持ちや情景を想像しながら歌いましょう。	●P60 音色・旋律		
●P80 歌詞にこめられた思いを軽快なテンポにのせて表現しましょう。	●P62 間		
●P80 曲にふさわしい表現を工夫しましょう。	●P64 音色・速度・旋律		
●P82 曲にふさわしい表現を工夫しましょう。	●P66 音色・旋律		
●P84 旋律の動きや重なり方、強弱の連いなどに注目して、曲にふさわしい表現を工夫しましょう。	●P70 音色・リズム・旋律・テクスチャ		
●P86 音色や強弱を工夫して歌いましょう。	●P73 音楽を形づくっている要素		
●P88 音域の変化や、それに伴う強弱の変化などに注目して、歌い方を工夫しましょう。	●P82 曲全体の構成を意識しながら強弱の変化を生かして歌いましょう。		
●P90 それぞれの部分の曲想を感じ取って表現に生かすとともに、詩の内容からなぜそのような曲想になっているのかを考え、音色や強弱、速度などを工夫しましょう。			

発行者	学年	○【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 科	2・3 下	●P12 歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P12 旋律・強弱
		●P16 詩にこめられた思いが、旋律や強弱にどのように生かされているかを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P16 旋律・強弱
		●P20 歌詞の内容を理解し、拍子や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P20 曲の形式や構成を理解し全体のまとまりに気を付けて歌いましょう。 リズム・強弱・形式・構成
		●P23 章の重なりやパートに気を付けて、互いのパートをよく聴き合いながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P23 音色・テクスチャ
		●P24 短調と長調の違いを感じ取り、速度や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P24 速度・旋律・強弱
		●P26 言葉の抑揚と旋律の動きとの関わりを意識しながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P25 同主調
		●P26 音の重なりやパートに気を付けて、混声合唱の響きを生かしながら歌いましょう。	●P26 音色・旋律・テクスチャ
		●P28 英語の語感を生かした旋律やリズムに注目しながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P28 リズム・旋律
		●P30 創意工夫して旋律をつくりましょう。	●P30 リズム・旋律・構成、ハ長調、4分の4拍子、和音
		●P32 創意工夫して音楽をつくりましょう。	●P32 音色・リズム・速度・テクスチャ・強弱・構成、4分の4拍子、構成
		●P34 曲想と音楽の特徴との関わりについて注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P34 音色・速度・旋律・強弱
		●P34 作曲家が記した標題や解説、当時の時代背景から、作品にこめられた思いを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。	●P37 音色・リズム、旋律・強弱・構成、音色や強弱の変化に注目して聴きましょう。
		●P37 曲全体を通して繰り返して演奏されるリズムと2つの旋律に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P42 音色・旋律
		●P42 楽器の音色や奏法と場面の様子との関わりやリズムに気を付けながら、尺八のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P46 音色・リズム・速度・旋律
		●P46 声や楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら、能の音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P48 音色・リズム、構成・旋律・拍
		●P46 音楽、舞踊、演劇などが一体となった能のよさや美しさを味わいましょう。	●P49 間、強弱、速度
		●P48 模範演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色や速度やリズムの変化などを感じ取り、表現を工夫して聴きましょう。	●P53 音色・旋律
		●P52 音楽を聴き比べて、それぞれの表現の特徴やよさを感じ取りましょう。	●P56 音色・リズム・旋律
		●P56 楽器の音色、旋律、リズムの特徴に気を付けながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P58 音色・リズム、旋律・テクスチャ
		●P58 リズムや音色、旋律、音の重なりなどに注目しながら、ポピュラー音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。	●P66 音色・旋律・テクスチャ・強弱
		●P66 「大地讃頌」を聴きながら指揮をして、音楽の特徴を感じ取りましょう。	●P67 拍、拍子、強弱
		●P72 歌詞にこめられた気持ちや情景を想像しながら歌いましょう。	●P74 曲全体の構成を理解
		●P74 曲にふさわしい表現を工夫しましょう。	●P86 強弱記号をヒントに全体の構成を理解して歌いましょう。
		●P77 曲想の変化や、パートの重なりなどを生かしながら、思いをこめて歌いましょう。	●P89 音楽を形づくっている要素
		●P80 曲想の違いを捉え、各部分を生かすように強弱や音色を工夫して歌いましょう。	●P92 ソナタ形式
		●P80 各パートの重なりや掛け合いを感じ取りながら歌いましょう。	●P96 音色・リズム、速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成
		●P82 詩と曲の構成との関係を探って、どのように表現したらよいかを考えましょう。	
		●P82 強弱、速度、さらにピアノ伴奏の形の変化にも注目して、曲にふさわしい表現を工夫しましょう。	

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
		無理のない自然な声の出し方で歌おう	青空へのぼろう	表1	曲について似ているところや違うところや違うところなどを確かめ、気が付いたことを楽譜に記入しよう。
		民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう	かりぼし切り歌	表2	歌ったときの印象も含めて、感じたり気が付いたりしたことをまとめ、交流しよう。
		郷土のさまざまな民謡	谷茶前、こきりこ節	表3	「ソーラン節」と「かりぼし切り歌」を歌い比べて、共通点や相違点を、みんなで話し合ってみよう。
		日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	(創作)	表4	母音が、コブシをつけながらのびているのがよくわかるわね。
		全体の構成を考えながら音楽をつくろう	(創作)	鑑1	歌詞の内容や歌う場面を調べ、それぞれの特徴を聴き取り、まとめてみよう。
		弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう		表5	言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。
		歌曲の形式の違いを鑑賞しよう	魔王	表6	言葉のリズムやまとまりを意識して、イメージに合う音を選ぼう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	尺八曲「鹿の遠音」	表7	七五調の短い歌詞をつくって、リズムをつけてみよう。
		わが国やアジア地域の、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう	天台声明 他	表8	言葉の抑揚を線で表してみよう。
		曲の形式を生かして歌おう	この道	表9	言葉の抑揚にそって、「ミ」「ソ」「ラ」の音をあてはめ、五線にも書き写してみよう。
		何が同じで、何が違う?	八木節 ホーミー 魔王	表10	自分で何度も声に出して読んでみよう。
		弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう	弦楽合奏のセレナード 第1楽章	表11	言葉のつながり方や重ね方、全体のまとまりを工夫して音楽をつくろう。
		歌曲の形式の違いを鑑賞しよう	野ばら	表12	言葉のリズムを意識して、ストーリーを表す言葉を選ぼう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	「和声と創意の試み」第1集 「四季」から	表13	5~6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。
		曲の形式を生かして歌おう	「和声と創意の試み」第1集 「四季」から	表14	表した言葉をカードにして、繰り返し重なり重なりしてテーマを表現してみよう。
		弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう	「六段の調」「漁舟唱晩」「サンジョ」	表15	テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑2	曲想の変化を形式やソネットと関わらせながら鑑賞しよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑3	ソネットと音楽の関わりで、いちばんおもしろいところを、みんなに紹介する文章を書いてみよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑4	ソネットに描かれている情景と音楽との関わりについて、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑5	5回現れるリトルネッロ部を手がかりに鑑賞し、気がついたことや感じ取ったことを記録しておこう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑6	「春」第1楽章と「秋」第1楽章を比べて、共通するところや、それぞれのよさなどについて、発表し交流してみよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑7	曲想の変化を物語の進行と関わらせながら鑑賞しよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑8	各登場人物の表現の特徴に着目し、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑9	気がついた音楽の特徴をまとめておきましょう。また、発表し交流してみよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑10	聴き取った特徴をまとめ、発表し話し合ってみよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		表16	歌詞と音楽との関係を捉えながら表現を工夫しよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑11	それぞれの音楽の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑12	天台声明やケチャ、布農くブスン>族の合唱についても比較しながら整理してみよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑13	ヴィヴァルディ作曲「春」第1楽章と比較して、気がついたことや感じ取ったことをまとめ交流しよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑14	「野ばら」の楽曲全体の構成について、「魔王」と比較しながら考えてみよう。また、「野ばら」の旋律を歌ったり、よさについてまとめてみよう。
		箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう		鑑15	箏曲「六段の調」と比較して、グーゼオン「漁舟唱晩」やカヤガム「サンジョ」を鑑賞し、気がついたことや感じ取ったことをまとめ交流しよう。

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 出	1	どんな特徴があるかな? 歌のアルバム	きらきら星変奏曲 故郷	鑑16	音楽は、音色(おんしよく)や旋律など、さまざまな要素から成り立っています。「きらきら星変奏曲」(主題と12の変奏)を聴いて、それらのはたらきに注目し、気がついたことや感じ取ったことを話し合ってみましょう。
				鑑17	音楽を形づくっている要素や、雰囲気の変化などについて、聴き取ったり感じ取ったりしたこと
				表17	を、話し合ってみましょう。 歌詞の内容を味わいながら歌おう。

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 出	2・3上	曲にふさわしい発声で歌おう	生命が羽ばたくとき	表1	歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。
		曲の特徴を生かして歌おう	You Can Fly!	表2	気づいたことを余白にメモしよう。
		曲の形式を生かして歌おう	浜辺の歌 早春賦	表3	感じ取った曲想や表現を工夫した点を下の表にまとめてみよう。
		リズムパターンをつくらう	(創作)	表4	歌詞の発音や他の声部との関わりを生かして、曲にふさわしい表現を工夫しよう。
		平調子の特徴を生かして音楽をつくらう	(創作)	表5	英語の歌詞の発音を生かして、合わせて歌おう。
		曲の構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう	ポレロ	表6	二部形式を説明するように、下の楽譜の空欄にあてはまる内容を記入しよう。
		オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	交響曲第5番 ハ短調 作品67	表7	形式を生かしてどのように表現を工夫するか、考えたことを交流して歌ってみよう。
		雅楽の多様な表現を鑑賞しよう	小フーガ ト短調	表8	工夫したことなどを説明しよう。
		郷土の音楽や芸能	民謡 他	表9	リコーダーや箏で表現して交流しよう。
		曲にふさわしい発声で歌おう	大切なもの	表10	交流したことを記録しておこう。
		曲の形式を生かして歌おう	花の街	表11	わかったことを簡単にまとめてみよう。
		何が同じで、何が違う?	時計台の鐘	表12	リコーダーや箏で表現して再度交流しよう。
		曲の構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう	雅楽「越天楽」、交響曲第5番	鑑1	楽器の音色や響き、強弱など気づいたことをまとめ、発表しよう。
		オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	「ポレロ」「火星」	鑑2	どのように構成されていたか説明してみよう。
		どんな特徴があるかな?	「アルルの女」第1組曲「前奏曲」	鑑3	「ポレロ」のよさや魅力について自分やみんなどで考え、下の表にまとめてみよう。
		歌のアルバム	故郷	鑑4	気に入った楽章について、よかつたところや、それを選んだ理由を発表し交流してみよう。
				鑑5	ソナタ形式と比べながら、「小フーガ」のよさなどについて発表し交流してみよう。
				鑑6	左舞「万歳楽」と右舞「拍子」を鑑賞して、雅楽「越天楽」と比べ、下の表にまとめてみよう。
		鑑7	それぞれの表現を比較して、特徴を整理してみよう。		
		表13	歌詞のまとまりとフレーズとの関連を生かして表現を工夫しよう。		
		表14	歌詞のまとまりやフレーズを生かして表現を工夫しよう。		
		表15	歌詞の内容を味わい、全体の響きを聴きながら合わせて歌おう。		
		鑑8	自分が着目したことなどを比較しながら整理してみよう。		
		鑑9	気がついたことを友達に紹介しよう。		
		鑑10	気がついたことや感じ取ったことをまとめ交流しよう。		
		鑑11	楽曲全体の構成について「交響曲第5番」と比較したり、オーケストラの表現の豊かさについて考えたりしてみよう。また、「シェエラザード」第2楽章のよさについて、発表し交流しよう。		
		鑑12	気がついたことや感じ取ったことを話し合ってみよう。		
		鑑13	聴き取った感じ取ったりしたことを伝え合ってみよう。		
		表16	二拍子による雰囲気や特徴を捉え、英語の発音を生かして表現しよう。		
		表17	歌詞の内容を味わい、転調の効果を生かして表現を工夫しよう。		
		表18	歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取って歌おう。		

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 出	2・3下	曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌おう	旅立ちの日に	表1	どのようなままとまりで歌うか、それを生かしてどう表現を工夫するか考えてみよう。考えたことを下の楽譜に書き込もう。
		曲の形式を生かして歌おう	荒城の月	表2	気がついたことを楽譜に書き込んだり、メモしたりしておこう。
		言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう	(創作)	表3	歌詞によるリズムやままとまりを理解しながら、歌い比べてみましょう。
		CMソングをつくろう	(創作)	表4	「花」と比べながらどのように表現を工夫するかを考え、下の楽譜に書き込もう。また、考えたことを交流して歌ってみよう。
		オーケストラの豊かな表現を鑑賞しよう	ブルタバ(モルダウ)	表5	言葉の反復や重ね方を生かして、ままとまりのある表現で工夫しよう。
		オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	交響詩「フィンランディア」	表6	言葉のリズムやままとまりを捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。
		歌舞伎や文楽の豊かな表現を鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」	表7	交流したことを記録しておこう。
		曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌おう	オペラ「アイーダ」から第2幕第2場	表8	選んだ言葉のつなげ方を工夫してCMソングをつくろう。
		曲の形式を生かして歌おう	バレエ「白鳥の湖」から	表9	言葉のリズムや抑揚を捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。
		何が同じで、何が違う?	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表10	つくったCMソングと自分の感じたことを発表して、交流しよう。
		オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」	鑑1	聴き取ったり気づいたりしたことを記録しておこう。
		曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌おう	文楽「義経千本桜」から 二段 大物浦の段	鑑2	音楽の表現とフィンランドの独立を願ったシベリウスの思いなどについて発表し交流してみよう。
		曲の形式を生かして歌おう	Top of the world	鑑3	自分にとって、見どころ、聴きどころだと思ふ場面を選び、その魅力を述べてみよう。
		何が同じで、何が違う?	椰子の実	鑑4	聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。
		オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	鑑5	舞台や音楽の表現、気がついたことや感じ取ったことなどを簡単に記録しておこう。
		曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌おう	歌舞伎「勸進帳」	鑑6	「アイーダ」の表現と比べながら、バレエ「白鳥の湖」のよさなどについて考え、発表し交流してみよう。
		曲の形式を生かして歌おう	私たちのくらしと音楽	鑑7	長唄の特徴や印象に残った場面を、理由とともにまとめておきましょう。
		何が同じで、何が違う?	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	鑑8	歌舞伎「勸進帳」と聴き比べて、気づいたことを話し合ってみましょう。
オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表11	英語の歌詞の発音、リズムや強弱の設定を生かして表現を工夫しよう。		
曲の形式を生かして歌おう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表12	五七調の歌詞のままとまりを生かして表現を工夫しよう。		
何が同じで、何が違う?	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	鑑9	自分が着目したことなどを比較しながら整理してみよう。		
オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	鑑10	気がついたことを友達に紹介しよう。		
曲の形式を生かして歌おう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	鑑11	音楽と舞台との関係について考えながら鑑賞し、よさやおもしろさについて述べてみよう。		
何が同じで、何が違う?	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	鑑12	それぞれの特徴について自分の考えを述べてみよう。		
オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	鑑13	音楽を生かせる仕事や活動と、音楽のもつ力について、思ったことや考えたことを話し合ってみよう。		
曲の形式を生かして歌おう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表13	英語の歌詞の発音や旋律のままとまりを意識し、美しいハーモニーで表現しよう。		
何が同じで、何が違う?	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表14	歌詞の内容を味わい、曲の山場(クライマックス)を考えて歌おう。		
オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表15	歌詞の内容を味わい、混声四部合唱で豊かに表現しよう。		
曲の形式を生かして歌おう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表16	歌詞の内容を味わい、気持ちをこめて歌おう。		
何が同じで、何が違う?	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表17	歌詞の内容や声部や声部の役割を生かし、豊かなハーモニーで表現しよう。		
オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイーダ」	表18	歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取って歌おう。		

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 芸	1	思いをこめて明るい声で合唱しよう。	We'll Find The Way ~はるかな道へ	表1	歌詞にこめられた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。
		曲の構成を感じ取って歌おう。	主人は冷たい土の中に(静かに眠れ)	表2 表3 表4 表5 表6 表7 表8 表9 表10 表11 表12 表13 表14 表15 表16	どこで大きく変化しているかをみながら考えましょう。 感じ取ったことを段ごとにまとめましょう。 グループで話し合って、下の表を完成させましょう。 フェルマータの表現を工夫するためにみんな話合ってみましょう。 音のつながり方を確認し、どのような感じがあるかを話し合ってみましょう。 旋律の音のつながり方を調べてみよう。 ワークシートに書き入れましょう。 中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。 意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。 歌詞の内容はどうなっているかな? 言葉の美しい響きを生かしながら、発音に気を付けて歌いましょう。 互いの声や伴奏をよく聴いて歌いましょう。 音楽や歌詞から気付いたことを右の表に書き入れましょう。 どのように歌いたいかを話し合って、下の表に書き入れましょう。 発音に気を付けて英語で歌ってみましょう。
		音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。	My Melody♪	鑑1 鑑2	感じたことや思い浮かべたイメージを書きましょう。 どうしてそのように感じたのか、注目するポイントと関連付けてまとめましょう。
		情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。	浜辺の歌	表17 表18	2つの風景からどちらかを選んで場面を設定し、ワークシートに書き入れましょう。 グループで話し合って、音素材を選びましょう。
		情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	赤とんぼ	表19 表20	グループで話し合いながら強弱や構成を工夫して音楽をつくりましょう。 図形などを使って、ワークシートに書き入れましょう。
		パートの役割を感じ取って合唱しよう。	朝の風に	表21 表22	中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。 意見交換したことを参考に音楽を完成させて、もう一度発表しましょう。
		曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	Let's Search For Tomorrow	鑑3 鑑4	音楽を聴き、それぞれの部分について、聞き取ったことと、感じ取ったことを書き入れましょう。 この曲のどのようなどころによさを感じましたか。また、その理由も発表し合ひましょう。
		英語で歌おう!	E del weiss	鑑5 鑑6 鑑7	詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 音楽の特徴や詩の内容からどのような情景を思い浮かべたのか、友達と意見交換をしましょう。 全体を通して、速度や曲想がどのように変化しているかな?気付いたことをみんな話合ひしよう。
		イメージをもたらず音楽の秘密を探ろう。	映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」	表23	模範演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して歌いましょう。
		構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	Let's Create!	鑑8	自分たちの住んでいる地域にはどのような民謡が伝わっているのか、インターネットなどを活用して調べよう。
		音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	春 第一楽章ー(「和声と創意の試み」第1集「四季」から)他(計4曲)	表24	歌詞にこめられた気持ちや情景を想像しながら歌いましょう。
		曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。	魔王		
		日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。	箏曲「六段の調」		
		声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。	ソーラン節		
		郷土に伝わる民謡を調べよう	郡上節 他		
		歌い継ごう日本の歌	ふるさと(全校合唱)		

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 芸	1	心通う合唱 曲のよさをプレゼンしよう	飛び出そう 未来へ	表25	歌詞全体の雰囲気と曲想との関わりを感じ取りながら、表現を工夫しよう。
				表26	曲のよさや聴きどころを伝える紹介文を書きましよう。また、曲を作った人についても調べましよう。
				表27	音楽と関連付けてプレゼンましよう。
				表28	友達の前でプレゼンを聞いて、気になった曲とその理由をメモましよう。

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 芸	2・3 上	パートの役割を理解して合唱しよう。 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 曲想の変化を生かして表情豊かに歌おう。 歌詞と旋律の関わりを生かして合唱しよう。 言葉の抑揚を生かして旋律をつくらう。 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくらう。 声や音楽の特徴を生かして長唄を唄おう。 受け継ごう！郷土の祭りや芸能 歌い継ごう日本の歌 心通う合唱	翼をください	表1	音楽の特徴を調べて下の表に書き入れ、曲にふさわしい表現を工夫しよう。
			夏の思い出	表2	どのような点を工夫して歌いたいかをまとめよう。
			Joyful Joyful	表3	曲想と歌詞との結び付きに注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。
			メッセージ	表4	音楽の特徴について調べ、表現を工夫しよう。
			My Melody♪	表5	音楽や歌詞から気付いたことを右の表に書き入れよう。
			Let's Create!	表6	どのような歌いたいかを話し合っ、下の表に書き入れよう。
			長唄「勸進帳」から	表7	曲想の違いを感じ取り、友達と意見交換をしよう。
			やさしさに包まれたなら	表8	歌詞の内容や情感、旋律の動き、強弱の変化に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。
			夏は来ぬ	表9	下の俳句の言葉の抑揚を調べ、メモに書きましょう。
			ふるさと(全校合唱)	表10	中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしよう。
			ハートのアンテナ	表11	意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しよう。
			時の旅人	表12	旋律が完成したら、ワークシートの五線に書きましょう。
				表13	リズムを1人ずつつくり、ワークシートに書き入れよう。
				表14	それぞれのリズムをどのように重ねていくのかグループで話し合い、「サラダを盛り付ける音楽」をつくりましょう。
				表15	どのように材料を減らしていくのかグループで話し合い、「サラダを食べる音楽」をつくりましょう。
				表16	演奏し、感想を発表し合ひよう。
				表17	日本語の発音や言葉のまとまりに気を付けて、歌詞を音読しよう。
				鑑1	郷土に伝わる祭りや芸能を他の地域の人々に紹介できるように、インターネットなどを活用して調べよう。
				表18	歌詞をよく読み、それぞれの思いをのせて歌いよう。
				表19	歌詞の表す情景と、パートの役割や伴奏の雰囲気の変化に注目して表現を工夫しよう。
				表20	歌詞にこめられた気持ちや情景を想像しながら歌いよう。
				表21	歌詞にこめられた思いを軽快なテンポにのせて表現しよう。
	表22	詩の内容からなぜそのような曲想になっているのかを考え、音色や強弱、速度などを工夫しよう。			

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 芸	2・3 下	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合奏しよう。	花	表1	歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。
		詩や曲の背景を理解して歌おう。	花の街	表2	日本語の美しい響きを大切にしながら、発音に気を付けて歌いましょう。
		情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう。	早春賦	表3	詩にこめられた思いが、旋律や強弱にどのように生かされているかを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。
		歌詞と旋律の関わりに注目して合奏しよう。	きみとともに	表4	歌詞の内容を理解し、拍子や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。
		曲の雰囲気を生かして英語の歌を歌おう。	Let It Be	表5	言葉の抑揚と旋律の動きとの関わりを意識しながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。
		ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。	My Melody ♪	表6	英語の語感を生かした旋律やリズムに注目しながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。
		音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう。	Let's Create!	表7	つくった旋律はワークシートに書き入れましょう。
		作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。	ブルタバ(モルダウ)	表8	中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。
		楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。	ボレロ	表9	意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
		沖繩の伝統芸能「組踊」に親しもう	執心鐘入	表10	1小節のリズムパターンを2つくり、ワークシートに書き入れましょう。
		伝統音楽の魅力を見つけよう	能「安宅」歌舞伎「勘進帳」 文楽「鳴響安宅新関	表11	リズムアンサンブルをつくり、ワークシートに書き入れましょう。
		私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能		表12	中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。
		ポピュラー音楽のジャンル(日本編)		表13	意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
		ルールを守って音楽を楽しもう!		鑑1	作曲者が記した課題や解説、当時の時代背景から、作品にこめられた思いを感じ取って聴きましよう。
		誼い継ごう日本の歌	ふるさと(全校合唱)	鑑2	この曲のどのようなところによさを感じたか、紹介文を書いてみましょう。
		心通う合唱	旅立ちの日に 春に	鑑3	若松によるせりふの抑揚を聴こう。
				鑑4	それぞれの音楽を聴いて、気付いたことを下の表にまとめましょう。
				鑑5	謡や義太夫節の始めの部分を謡ったり語ったりして、長唄との違いを感じ取りたいね。
				鑑6	地域に伝わるかけがえのない文化を、私たちも次の時代に大切に伝えていきたいね。
				鑑7	ふだん聴いている曲の中から2曲を選び、その音楽の特徴をワークシートに書き入れましょう。
		鑑8	友達と発表し合い、さまざまな音楽のジャンルのことを知りましょう。		
		鑑9	例えばこんなとき、どうすればいいのだろう? 調べたり話し合ったりしよう。		
		表14	歌詞にこめられた気持ちや情景を想像しながら歌いましょう。		
		表15	各パートの重なりや掛け合いを感じ取りながら歌いましょう。		
		表16	詩と曲の構成との関係調べて、それぞれの部分をどのように表現したらいのか考えましよう。		
		表17	音楽の授業で学んだことを生かして、みんなに薦めたい1曲を選び、その曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションしよう。		
		表18	曲のよさや聴きどころを伝える紹介文を下の表に書きましよう。		
		表19	紹介文をもとに、音楽と関連付けながらプレゼンしよう。		
		表20	友達の前でプレゼンを聞いて、気になった曲とその理由をメモしよう。		

発行者	学年	取り上げている内容	具体的な学習の内容
教 出	1	「音」ってなあに？	ものの振動、空気、水、水の振動で音が鳴ることや、音の振動には時間がかかることなどの説明。 ものが振動して、その振動が空気を通して耳に伝わる現象が「音」であること。
	2・3上	音の三要素 PART-1	音量について物理的な側面からの説明。
	2・3下	音の三要素 PART-2	音高と音色についての物理的な側面からの説明。
教 芸	1		
	2・3上		
	2・3下		

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
教出	<p>「国歌 君が代」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【歌詞】(1年P82)(2・3上P82)(2・3下P82) ・【楽譜(ピアノ伴奏付き)】(1年P83)(2・3上P83)(2・3下P83) ・【本文】歌詞の大意及び解説(1年P82)(2・3上P82)(2・3下P82) <p>歌詞の大意:「細石が集まりやがて大きな岩となり その上を苔が一面に覆うほどの永きにわたり 日本の平和と繁栄が末永く続くことを願う」 解説:「世界の人人々も自分の国や地域の平和や発展を願い、誇りをもっています。互いにそのような気持ちを尊重し合うことが大切です。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】細石の写真 1点(1年P82)(2・3上P82)(2・3下P82)
教法	<p>「国歌 君が代」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【歌詞】(1年P99)(2・3上P99)(2・3下P99) ・【楽譜(ピアノ伴奏付き)】(1年P98)(2・3上P98)(2・3下P98) ・【本文】歌詞の大意及び解説(1年P98)(2・3上P98)(2・3下P98) <p>歌詞の大意:「日本の国が、細かい石が集まり固まって大きな岩となり、苔で覆われてしまうほどの長い間(=永久に)平和が続きますように。」 解説:「国歌「君が代」の歌詞は、平安時代に成立した「古今和歌集」に収録されている和歌をもとにしたもので、旋律は明治13(1880)年につくられました。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】国歌・国旗と国際的儀礼の写真 1点(1年P99)(2・3上P99)(2・3下P99)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)	
教出	<p>「私たちのくらしと音楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】音楽家による被災地でのアウトリーチについて(2・3年下P66) ・【写真】兵庫県西脇市の中学校で行われたワークショップやコンサート(2・3年下P66) ・【写真】東日本大震災後、岩手県大槌町の小学校で行われたワークショップ(2・3年下P66) 	
教芸	<p>「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】秋田竿燈まつり 東日本大震災の復興を願って、生徒が岩手県を訪問(2・3年下P55) ・【写真】生徒が演技している様子(2・3年下P55) <p>「歌い継ごう日本の歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【楽譜】花は咲く(2・3年下P70、P71) ・【解説】NHKが行っている、東日本大震災の復興支援プロジェクトの一環としてつくられた歌(2・3年下P70) 	

「別紙2-7」【オリンピック・パラリンピックの扱い】(中学校 音楽一般)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)	
<p>・ 記載なし</p>		
<p>教出</p>	<p>「国歌 君が代」 ・【本文】国歌は、国内で行われる式典や行事、大会の他、オリンピック・パラリンピックやスポーツの国際試合など、国際的な場面や場所でもよく歌われる。 (1年下P99)(2・3年上P99)(2・3年下P99) ・【写真】オリンピック表彰式で「君が代」を歌う日本人選手(1年P99)</p>	
<p>教芸</p>		

「別紙3」 【(2) 構成上の工夫】 (中学校 音楽一般)

項目	ア 目次、表記、表現の工夫	イ 絵、図、写真、資料、楽譜等の工夫	ウ 単元構成の工夫	エ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	オ ユニバーサルデザインの視点	カ デジタルコンテンツの扱い	キ その他
発行者							
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、創作、器楽が色分けされて表記されている。 ・目次だけでなく、「学びのユニット」と称して、題材のまとまりや関連する教材を示している。 ・「学びのユニット」では各題材において学びの手掛かりとなる共通事項を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲に関連する写真がカラーで豊富に掲載されている。 ・鑑賞教材において、様々な種類の楽譜が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と歌唱を融合させた題材構成がなされている。 ・学んだことを比較したり、深めたりすることのできる教材を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚したことや感受したこと、考えたことについて、交流する場面を設けている。 ・学習を記入するページが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインソフト(UDソフト)を使用している。 ・カラーユニバーサルデザイン(CUD)を取り入れている。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」では、目次ページに掲載されている二次元コードを読み取ると、学習に関連する声源を聴いたり、ワークシートを閲覧したりすることができ。 ・「コンピュータと音楽」では、音楽の学習におけるコンピュータの活用方法の例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習として、「中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。」と明示されている。 ・「くらしの中の音楽として、アウトラリーチ・教育活動・音楽療法」について触れられている。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示した「学習の地図」となる内容が掲載されている。 ・学習内容のページでは、各教材で何を学習するのかを明記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材で考えさせたり工夫させたりしたい内容を、人物の絵を用いて会話形式にしている。 ・歌詞の内容をイメージしたイラストや背景・風景が描かれている。 ・鑑賞教材において、様々な種類の楽譜が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国や郷土の伝統音楽については、鑑賞・歌唱をリンクさせながら学習できるように配慮がなされている。 ・巻頭ページに、各界のプロフェッショナルの方から中学生へのメッセージを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「深めよう！音楽」では具体的な活動内容が示されており、話し合い活動や発表活動が設定されている。 ・自分で考える、他人と話し合う、音楽を紹介する等、様々な対話の場面が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインソフト(UDソフト)を使用している。 ・色彩デザインに関する配慮が示されている。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物や音楽用語について調べられるように二次元コードが添付されている。 ・生徒に身近な「音楽のダウンロード」を例に、音楽に関する知的財産権について、示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽だけでなく、日本や海外のポピュラー音楽など、様々なジャンルの作品を紹介している。

